

# 六葉会会報

vol.10



関東学院六浦中学・高等学校同窓会

## 目次

---

会長挨拶 会長 田野井 一雄 .....	1
学校の近況 校長 永野 肇 .....	2
逝く秋 国近 高龍 .....	4
安曇野通信 曲淵 憲介 .....	6
「しんしゃく源氏物語」を上演して 市川 夏江 .....	8
「しんしゃく源氏物語」を観て 森 孝久 .....	9
六葉会の活動 .....	10
すごいコラム .....	12
現役クラブ紹介 地学同好会 .....	14
新校舎落成 .....	15
学校に行こう「六浦祭」11/3・4 開催 .....	15
学校のパン屋さん 六浦製パン .....	16
OB 訪問 ダスン 掛田 浩康 .....	18
街角スナップ .....	19
1997 年度決算報告書 .....	20
1998 年度予算書 .....	21
訃報 .....	22
クラス会に助成金 .....	22
募集コーナー .....	22
編集後記 .....	22
名簿の販売について .....	23
維持会費のご協力をお願い .....	23
1999 年度 中学校生徒募集要項 .....	24

---

## 表紙のことば 画家 島谷 晃(十回卒)

鳩が未来に向かって、六枚の葉をつけた小枝を抱いて、羽ばたく姿を描いて見ました。

我が母校 関東学院六浦中・高と、その卒業生のパワーを平和の鳩になぞられて、若い燃える生命力として、緑で表現しました。

36年前に私は卒業しましたが、当時の学校でのいろいろなシーンが、いまだに脳裏に焼き付いています。

悩み多く、そして希望をがむしゃらに追い求めた、長い道のりの我が青春が、ここから始まったと言えるでしょう。

すべて大切な思い出となりました。

母校と六葉会の会員の皆様の、ご多幸をお祈りします。

# 会長挨拶

会長

田野井 一雄

(第7回卒)

夏の甲子園では横浜高校が全国制覇を成しとげ、プロ野球セントラルリーグでは我が街の横浜ベイスターズが今まさに、38年ぶりの快挙を達成しようとしています(注・原稿は9月中旬に書かれました)。今年が「横浜の年」といっても過言ではないと思います。

そんな年に、永い歴史と伝統に培われた我らが母校、関東学院六浦中学高等学校も第46回<sup>9,754</sup>204名の卒業生を輩出し、総勢<sup>9,754</sup>名となり1万人にあと一步となりました。母校も六葉会も益々発展の一途をたどっていることは喜びにたえません。

「物の豊かさから、心の豊かさへ」と叫ばれて久しいわけですが、政治

経済をはじめ、社会の様々な分野で問題点が露呈し、又、犯罪も益々凶悪化、低年齢化し、安心して日常生活が送れるかどうかすら危惧される状況です。

私たち卒業生は「人になれ、奉仕せよ」の校訓をモットーに中学高校時代を過ごしました。どんな時代にあつてもわずか8文字で人間の生き方、在り方を明確に表現した名文句です。今や日本は世界有数の少子高齢化社会に突入し、今後、学校経営は、冬の時代を迎えようとしておりますが、私たち、卒業生にとって、母校の発展は共通の願いです。

来る、11月3日(火)4日(水)の両日、母校では例年通り六浦祭が開催され

ます。私たちは「六葉会の部屋」を今年も設置し、卒業生の皆様にくつろいでいただけるよう準備しております。卒業アルバムも第1回卒業より今年度卒業の第46回生のものまで全ての卒業期のアルバムを展示し、卒業生ばかりでなく、在校生の皆様にも大変好評のスペースとなっております。さらに、12月5日(土)には母校の六穂会(P.T.A)と共同開催でクリスマスコンサート(詳細は本号に掲載)を実施いたします。又、コンサート終了後には「卒業生の集い」を開催し、ご来校いただいた卒業生の皆様にご歓談いただけたらと考えております。

本年9月には新校舎も竣工して母校も大きく変貌しました。しかし、不思議なことに私たちが在校した当時の空気は昔そのままのような気がいたします。是非、この機会に「ご家族と一緒に母校へお出かけください。」

# 学校の近況



校長

永野 肇

今年には六浦中高が三春台より一九五三年に分離独立して、四十五年目にあたります。特別な記念行事は行いませんが、結果として三号館校舎の改築という大きな事業を行いました。去る九月一日に献堂式を執り行いました。新校舎は三階建て十五の教室（高校）と特別教室、会議室、多目的ホールです。

さて、昨今二十一世紀に向けて教育改革に関する各種審議会の答申が発表されています。本校でも新しい時代に対応すべく、独自の教育改革を検討してきました。

大きな改革の一つは、一九九九年より実施する五日制です。教育課程、土曜日のある方など、様々な問題を多角的に検討しております。もう一つは、完全な中・高六年一貫教育に戻ったことです。十七回生から実施されておりました高校入試を一九九八年度入試を持って終了いたしました。



# 逝 く 秋

逝く秋や

よき師となる日

遠くして

国近 高龍

句の出来栄えはとにかくとして、昭和三十一年（一九五一年）、関東学院六浦中高の教員として職を奉じ、“文芸部”の顧問を仰せつかった最初の年の秋に、先生方四・五人と生徒十四・五名で開いた、“山びこ句会”の席上私の詠んだ句である。

教員になつて半年足らず、まだまだ何もわからず、やることなすこと中途半端で、周囲に迷惑の掛ければなし、意欲や意気込みだけが空廻りしていた。従つて、この句はその頃の私の実感を詠んだものでした。

全く不思議な縁で、その存在さえ知らなかった学校にお世話になり、生徒との交りが楽しくて、気がついてみると四十二年余の月日を過してしまっていた。

生徒と一緒に、海や山に出掛けたら、文芸部の部員とあちらこちらで学散歩をして歩いたり、放課後はソ

フットボールに興じたりという思い出は尽きない。生徒の「授業をやめてソフトをやるう」という声に押されて、グラウンドで遊んでいて、当時の栗澤校長に呼び出しを受け、「先生がいるのに授業中遊んでいてはいけません。」とお叱りを受けたことなど、つい二・三年前の出来事のように鮮明に思い出され、内心忸怩たる思いを新たにしている。

ともかくにも四十二年前、大過なく過ごして来られたことは、多くの先生方や生徒諸君のお蔭と感謝しているが、やはり一番脳裡を離れないのは、勉強途中で私の前を去っていった何人かの生徒のことである。何度が事件を起こして学校を辞めていった者。成績が思わしくなく、再履修が不合格で他校に転出していった者。不登校で欠席時数が規定を越え、卒業を目の前にして去ってしまった者など、今でもその面影が、苦

い敗北感を伴いながら甦ってくる。

今から二十年程以前、私が高校一年のクラスを担任した中に、一人の何かにつけて目立つ生徒がいた。彼は、小学校時代からリトルリーグの野球選手として抜群のセンスを備え、県下でもかなり知られ、将来を囑望された存在であった。

その彼は、中学に入ってから次第に部活にも参加しなくなり、成績の方も低下しはじめた。自我の覚醒

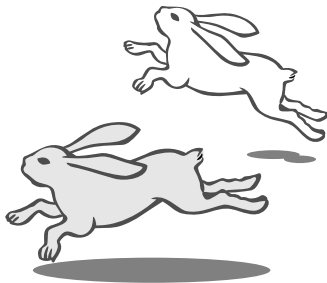
と共に他者、特に上級生たちとの確執が始まったものと思われる。

高校に進学してからも、会議の疎俎（そご）に上ることが重なり、遂に私の前から去って行くことになった。いつもの事ながら、私は無力感に打ちのめされ、人が人を教育するということの難かしさをつくづく味あわされた。だいたいそんなことができると思えるのは傲慢で烏滸（おこ）がましいことなのかも知れない。

一昨年、久方ぶりに彼から連絡があり、横須賀に「クリニック」を開業したとのことであった。彼は立派に自力で立ち直ったのである。

教育の業（わざ）は奥が深い。

四十三年目の秋がまだ巡って来ようとしている。よき師となる日は遠くして、の想いは、遂に変わることがないまま終るうとしている。



# 安曇野通信

曲淵 憲介

店頭に並ぶ野菜に季節感がなくなつたように、人の営みが地球環境を変えてしまったのか、生物暦をすっかり狂わせてしまったようです。生物暦通りに予定していたツツジやヤマ祭り、その時には既に花が終わってしまったという…。

安曇野に百年ぶりという一月の大雪には驚きました。三十<sup>A</sup>ほど積もっていた雪の上に、一夜にして六・七十<sup>A</sup>の新雪。夜来しばしば轟くパシツという大きな音は、太い赤松が折れる音でした。生活の足である埋没した車を掘り起こし、八<sup>F</sup>先の町道まで除雪するのにまる一日、いつもなら歩いて七分程で行ける新聞受けまで二十分以上もかかる始末。町

道に除雪車が入ったのは何と十日夜でした。

四月に入ると急激な気温上昇に大雨が手伝つてあつという間に雪を解かし、河川は増水し警戒水位に達する程でした。その後も気温の上昇は急速で、季節の移り変わりは例年より約二週間程早く、時期の花たちは先を争う様に咲き競いました。ところか梅雨明けは八月二日と遅く、その後も天候不順で夏らしさを感じさせる日は多くありませんでした。

八月には、長野・岐阜県境の群発地震に驚かされました。揺れは、横須賀で感じたものとはずいぶん違いドンと突き上げるような縦揺れで地質の固さを感じさせます。今回まで

は当地でほとんど地震はなく、長野県は神奈川県に比べ地震の少ない所と思つていました。連日の揺れは予想外でした。

安曇野の風景は、三千<sup>F</sup>級の山々を背景に広々と広がる水田と湧水群そして点在する道祖神が絵になります。(Photo1, 2)

道祖神は、日本の古来からあつた生産・生殖の神として、五穀豊穡や子孫繁栄縁結びの願いをかけたものといわれ、中国古来の道の神の思想



山々のふもとあたりに曲淵邸がある。





安曇野の道祖神

が日本に入って来て、「道」を守ってくれる神として「道祖」の文字が当てられたといえます。こんな風景の中でパードウォッチングを楽しむのも格別です。

今年になって近隣に足を伸ばし自然探索を楽しんでいます。早春、四賀村の福寿草、更埴市の杏、鬼無里の水芭蕉、仁科三湖と白馬の間に位置する姫川源流域の植物、大町郊外のキクザキイチゲ群落、乗鞍高原のベニバナイチヤクソウ群落、日本海

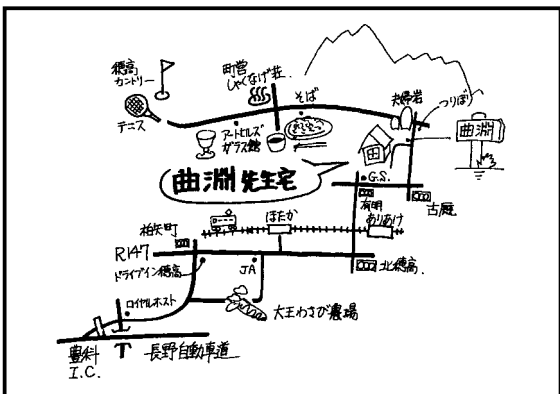
糸魚川のヒスイ海岸での石拾い等々。何れの場所も私の庭の一部になりつつあります。是非皆様をご案内したいものです。

皆様もこのような旅に出たら、是非小さな石を記念に拾って下さい。そうすれば私の工房でペンダントやキーホルダー、そしてループタイ等が造れます。石質にもよりますが二時間位でできます。世界に一つしかないアクセサリーの誕生です。予約制で、一回に三・四名様体験で



ペンダント作成中の曲淵先生

きます。是非ご家族でチャレンジしてみてください。お待ちしております。皆様のご健勝とご活躍をお祈り致します。



### 曲淵先生アクセス

中央高速・長野自動車道豊科C  
降いてR147利用すぐ  
長野県南安曇郡穂高町有明7364 13  
TEL 0263 803 2928

『しんしゃく源氏物語』を上演して  
第二回卒 市川 夏江

母校の後輩の皆さんに初めて私の芝居を見て頂く機会を得まして本当にありがとうございました。

私の卒業は1954年。以来ずっと役者を続け、石田先生（元学院長）をはじめ、受持ちの島田先生、八木先生、横澤先生、今は亡き村田先生も劇場に足を運んで下さったのです。

関東学院の同級生や演劇部にいらした方々も私の大切なお客様です。役者はお客様あつてのもの、感謝でいっぱいです。

6月17日、横須賀芸術劇場の客席の一番後ろの席に座って舞台を見る一階まで降りながら、客席のいろん

な場所に座ってみました。

キヤバ二千はちよつと大きい会場だなと思ひながら舞台に立って声を出してみる。『しんしゃく源氏物語』は源氏を取巻く女達の中で醜女といわれた末摘花という姫が、待ち続ける、純愛物語です。

打合わせで学校を訪ねた時會つた演劇部の後輩たちが私のメイクを見学に來ました。私のいた頃と同じで部員は女生徒ばかり。鏡の中にいくつもの真剣な目がありました。あの頃、部外の人達に応援を頼んで何度か出演して頂いた事、美術部にセットを作ってもらつた事など、なつかしい文化祭の芝居が頭をよぎりました。

この『しんしゃく源氏物語』は女ばかりで出来るのでさつそくレパートリーに取上げたのですが、かつらも衣装もお金がかかる事に恐れをなして止めてしまつたのは高二の時だった。その芝居が今こゝで出来るのも何かの縁でしょう。

あの時、やりたかつた姫の役は、今回男優が演じ、私は伯母の役をやりました。

女8人の芝居を男優4人、女優4人で演じたのです。

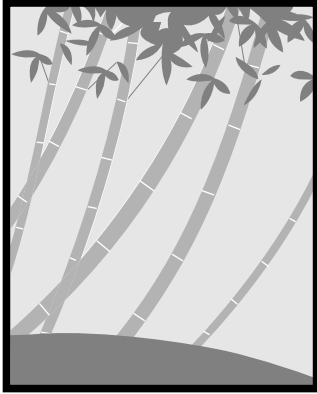
客席の生徒さんたちは、こちらが不安になるくらい静かで、お行儀よく見ていただけました。カーテソールに後輩から花束を頂き短い挨拶をいたしました。

卒業して初めて母校の良さが身にしみたこと、大切な友人をここで得たこと。

会場に同級生が、十人ちかく私の芝居を見に来て下さつてました。

私の作品『湯田中・まるか桜の女たち』は十一月石川県能登、来年3月シアターVアカサカで上演しますが、その最後のセリフをおきかえて『目をつぶると、平瀧湾、小高い山、そこにつらなる校庭。懐かしい先生方の顔、同級生の顔が浮かんできます。』

皆どうしているのか……。でも今、私、芝居をやっているのが良かったと思っているんです。『人になれ！奉仕せよ！この言葉を忘れずに、人に感動を与えられる様な芝居をやりたいと思っています。』



「しんしやく源氏物語」を観て

第十二回卒 森 孝久

一、落魄の

貴族の館 ある姫の

想ひよ届け 君のもとへ

一、恋多き

源氏の君を 待つ身には

思いで綴る 一夜も長し

一、人模様

織りなす機微の 徒然に

役者演ずる 源氏絵巻や

一、召人の

慮げられし 身なれども

心かよはず 刻もありなん

一、侍女達の

心づくしの 晴着めし

君を迎える 胸のたかなり

市川先輩、今後の益々の御活躍をお

祈りし、お礼を申し上げます。

一、恋焦がれ

待つ身のつらさ 幾とせの

今宵もたくす 琴の調べに

## 特 集

# 六葉会の活動

1953年（昭和28年）の春に第1回生87名が卒業して以来、本年の第46回生204名を加えて会員又は同窓生総数は9754名となりました。まさに来年には約10000名という大きな規模の同総会となります。

この同窓会には2つの目的があります。一つめは同窓生による母校の発展に貢献することです。そして二つめは同窓生自身の発展と親睦であります。母校である六浦中高を離れ、それぞれ違った環境や、社会へと入った今、同じ学校で学んだ卒業生がお互いに情報を交換し合い、心や生活を豊かにし、励まし合って生きて行けたら最高の幸せだと考えます。

六葉会は今年も会員の皆様の提言を積極的に取り入れ、会を運営したく考えております。そして、より樹実した楽しい会にできればと願って

おります。

この六葉会の活動を今一度ご理解いただくために、その内容を簡単にご紹介いたします。尚、月一度、学校会議室において活動をおこなっておりますので、運営に興味のある方は是非事務局までご一報ください。

### 六葉会の活動

- (1) 卒業生の集いの開催
- (2) 名簿の発行（5年毎に発行）  
……………96年発行
- (3) 募金活動  
（母校の建築等への援助）
- (4) 会報の発行（年一回）
- (5) クリスマスコンサートの開  
催（六穂会と共催）

**各委員会の紹介**

**特別企画委員会**

六葉会と母校の発展のために企画・運営の計画を立案し、貴重な働きをしています。

**会報委員会**

会報の発行により、卒業生の情報交換、学校の現状等についてホットなニュースを提供しています。

**つどい実行委員会**

「卒業生の集い」の企画・運営。卒業生のふれあいの場。年令の差を越えての楽しい集いが行われます。

**名簿委員会**

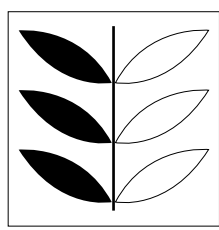
5年に一度名簿を発行。卒業生にとって大切な情報源。正確な名簿

作成のため努力しています。

**会員交流委員会**

会員相互の交流を促進し、理解を深めることによって、同窓会の活力を生み出します。

**六葉会のシンボルマークについて**



「山上の垂訓」の1節にある「平和（マタイ5章8節）を概欖で表し、図案の6枚の葉はオリーブの葉で6年間の歩み及び六浦を表しています。

1組	相澤 友香・兼子 洋介
2組	岩沢 正樹・藤島 真幸
3組	佐藤 明弥・吉野 淳

4組	鹿島しのぶ・片野 正廣
5組	石黒 雄士・出井菜穂子
6組	瀬戸真奈美・根岸紗弥香

**46回卒業生六葉会幹事**  
関東学院六浦高校

1a上記の方々が学年幹事となられましたのでご連絡事項等よろしくお願い致します。  
 1b転居されますと、会報等の郵便物が届かなくなります。住所変更は六浦中高事務局781 2525までお知らせ願います。FAX 781 2527

# すこゆこうム

## 体を大切に

高石 智一（第四十三回卒）

人間は計算とか長い数字を読むとかの動作は昼間が最も能率がよく、夜半の三時から五時までが最も悪く、六時頃からまたよくなります。しかし、短時間のうちに全力をあげなくてはならないような行為、たとえば近くに火事があつて家財を外に出すというような行為は、日周リズムと関係なく、いつでも同じように全力でできるのです。

興味深いのは暗記です。記憶は体温が低い時、つまり夜中の方が効率が上がります。これが、受験生が夜型になる理由でもあるのです。さら

に夜型になっている時は昼間寝ていきますから、必ずしも眠いわけでもありません。体温、ホルモン分泌等は昼型、または夜昼の中間型のままですから、けっきょく受験生は体は昼型、頭は夜型になっているというわけです。

例えば、徹夜でマージャンをしたり、仕事をしたあと、朝寝ようとしてもなかなか寝つけず、何となく眼がさえてしまつことはよくあります。これは、明け方になると自然に生体が昼のリズムを持つようになるからです。朝になると体温が上昇し

て来ます。すると、人間は体温が下がると眠くなるし、上昇すると目が覚めるといふ傾向をもっていますから、明け方は寝つけないのです。体温のリズムを調べてみると、体温は朝高くなりはじめ、夕方が最高となり、寝入りばなには急速に下降します。看護婦さんがそつで、夜中には働いているのに体温は下がっています。その翌日は、昼間寝ているのに体温は上がっています。つまり、この昼寝では「良い眠り」が得られていないのです。断眠は人をものぐさにするので、それさえも生体時計の影響を受けているのです。事実、断眠中も、交感神経の活動を示すアドレナリンの量が昼間は高く、夜は低いというリズムをつづけています。このように夜中に動作が鈍ることは、トラックの運転手などにとつては重要です。夜間の走行は眼をさかんに瞬きをするのですが、途中でま

まったく瞬きをしなくなる時間があ  
り、このとき脳波は、睡眠パターン  
を示すのです。また目はあいている  
こともあり、閉じていることもあり  
ます。つまりドライバーは「眠りな  
がら」運転していることになりました。

またこのような例は夜勤の看護婦  
にもみられ、患者の記録を一時的に  
手を動かさなかつたりすることがあ  
ります。最近では夜間にコンピュー  
タのプログラムをチェックするプロ  
グラマーが、同じチェックを一度な  
らずくり返すことも知られていま  
す。

生体に関係のある血液についても  
考えてみましょう。

血液は血管の外に出るとすぐ固ま  
り、血液が失われないようになって  
います。これは血液凝固という現象  
です。しかし血液は、血管内では固  
まらないようになっていきます。それ  
は、血管壁が、スベスベしていて血

を固まらせないようになっていると  
いうこと以外に、血を固まらせない  
物質を出しているからです。ところ  
が動脈硬化などが起こり、血管壁が  
異常になると、血管内で血が固まる  
ようになります。これが心臓の血管  
に起これば心筋梗塞とよばれます  
し、脳の血管に起これば脳梗塞とい  
われます。

梗塞のように血管が完全につまる  
前、つまり血液の供給が充分でない  
場合に起こる症状は狭心症とよばれ  
ます。この狭心症は、動脈硬化で血  
管が狭くなっている際に、血管が収  
縮したりして起こるものです。この  
ような時には血流が乱れますから、  
それが原因で血液内で血が固まり、  
心筋梗塞に進んだりします。

この心筋梗塞も狭心症も、起こり  
やすい時間があります。心筋梗塞は  
午前十時半頃が好発時間です。よく、  
午前中にゴルフをやっている心筋梗

塞で倒れたりしますが、午前中は血  
が非常に固まりやすくなっているの  
です。一方、血管の収縮などによる  
狭心症は、夜明けごろに多くなつて  
います。この時は、血液が固まりや  
すくなっている上に、血管の緊張度  
も高まっているからです。

他方、血液が固まつた後に溶けや  
すくなる線溶せんとうという現象は、午後  
に活発になるので、血栓の治療は午後  
が効果的です。このようなことを考  
えますと、神経をつかう大事な会議  
などは、血管の緊張も少なく血も固  
まりにくい午後にするのがよい、と  
いうことになります。

そのほか、喘息ぜんそくの発作は明け方に  
多いとか、ある病気がある時間帯に  
起きやすいという例などは、枚挙に  
いとまがありません。われわれの健  
康管理上も、医師の治療に際しても、  
生体リズムの存在を知ることはい  
へん重要なことなのです。

# 現役 クラブ紹介

関東学院六浦中学・高等学校の地学同好会の歴史はまだ浅く、同好会としての活動が始まったのが1994年の4月からでした。当時、会員は私を含め15名と、できたばかりの同好会にしては多く、さい先のよいスタートを切りました。

会の性質上、ふだん授業のある日にはなかなか活動できず、そのため土曜日や日曜日、長期の休みに入ったときの合宿などが私たちの主な活動日となりました。

合宿には永野校長に同行していたこともあります。昼は曲淵先生にいろいろと御指導をいただきながら鉱物を採取したり、夜には永野校長に星や流星群の観察をさせてい

## 地学同好会

井汲 和仁(第45回卒)

ただいたり、都会ではできない貴重な体験をさせていただきました。特に泥まみれになりながら土を掘り続け、時には冷たい川の中に入って川底の石をいくつも拾い上げ、やつとの思いでお目当ての水晶やガーネットを手に入れた時や、満天に広が



る星空に数秒に一度ふりそそぐ流星群を見た時の感動は今でも忘れることができせん。

現在、地学同好会は会員が減ってしまい、生物部と合同で活動したり、個人で曲淵先生のお宅へうかがって鉱物を磨いたアクセサリなどを作ったりと、いろいろな工夫をしながら活動をしているそうです。





新  
校  
舎  
落  
成

9月1日に新3号館が落成、献堂式が行われました。4階建てで、内部は木がふんだんにつかわれた、温かみのある校舎です。中に入るとむかしの校舎にもとつたような感じがします。



新3号館全景

学校へ行こう  
「お浦祭」11/3・4開催



11月3日4日の2日間六浦祭が開催されます。卒業生の部屋として六葉会の部屋を今年も設けます。門を入れて正面にある新校舎の2階です。卒業アルバムを全学年そろえて展示しています。現役の学生にも先生の学生時代の写真がみることができるとあって毎年好評です。是非、足をお運びください。

# 学校の パン屋 さん

六浦製パン

加藤好子さん(第7回卒)  
加藤宗雄さん(第14回卒)  
加藤哲久さん(第16回卒)

今でも毎日学校にパンを納めているパン屋さんにお話をうかがいました。

好子さん

去年の2月に学校でクラス会をひらいたときに、教室を森事務長さんに頼んで借りて、山内先生に数学の授業をやってもらったのよ。山内先生は高校一年生の時の担任でね…。そのとき他の学年も学校で同窓会やってたよ。卒業生がそうやって学校を利用するっていいことだね。私たちの学年は2、3年ごとに中一の

時の担任の岩井先生、石田先生(夫人)と石田先生をよんで同窓会を開いているのよ。そうね50から60人位は集まるかしら…。

学校ができたときからパンを学校に納めさせてもらってるし、そのころ、まだ平潟湾が埋め立てられていなかったから、うちの前を関東の学生さんが朝から晩まで歩いてたわよ。高校の夜間もあつたしね。コンビニもまだなかったから、みんな寄ってくれてね。私が入ったときはもちろん卒業されてしまっていたけど、ものすごく身近に感じたね。



11…30までに店にいけば焼たてのパンが買えます。調理パンが今時100円しかも消費税こみ。余分につくっていいないので午後にはほとんどありません。

宗雄さん

私たちは毎日学校にいつているでしょ、だから移り変わりなんていうのが全然わからないんだよね(笑)。懐かしいっていう気持ちはもちろんあるけれど、きのう卒業したような気もするね。

学校でパンを売るのは楽しいよ。学生さんはみんな気持ちがさっぱり



自慢のパンを前に宗雄さん。

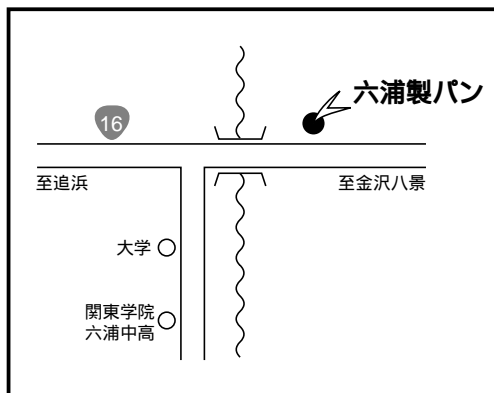


本日の残りはこれだけ。早い者勝ち。

しててね。関東の他にも学校を何軒か入らせてもらっているし東急車両や団地の会社にもはいらせてもらっているの店売りまで手が回らなくてね。夕方からは会社の残業の人も相手に店をできちゃうから、この前も通りがかりの人に商売やっつてるの?なんて言われちゃったよ(笑)。でもさ、地元の学校の生徒さんに毎

日たくさん食べてもらうのが一番だよね。

毎日、朝早くからいそがしい六浦製パンさんでした。



OB  
訪問

## 「ダズン」店長

(ダイエー金沢八景店2F・紳士服)

第33回卒 掛田浩康さん



「ダズン」店長の掛田さん

トラッド系を中心とした紳士服の店を経営。7年前に独立して、ダイエー金沢八景店の2階に店をかまえました。

半年前にリニューアルオープンし、トミーヒルフィガーやポールスマスそしてチャップスラルフロレンといったブランド品にもさらに力をいれました。また、絶対に良いものしか置かないというこだわりの品ぞろえが魅力です。店名の「ダズン」とはダース(12)のことで、年間を通してひと月ごとにお客様がコーディネート

ネットしやすいように共に考え勉強してきたいという想いがこめられています。洋服選びに自信がなくても希望やTPOにあわせてアドバイスしてもらえるところもほかに無いサービスです。

お客様には六葉会の方が多く、お世話になった先生の話でもりあがるも度々あるとか。先日は中学入学の相談も店頭でうけたそうです。

今回、この会報を持参されたかたについて全商品を店頭価格から10%引きで提供してくださるといふ特典を六葉会会員にいただきました。この機会をお見逃しなく

横浜市金沢区泥亀

ダイエー金沢八景2F「ダズン」

TEL 045 788 2963

思い出  
の  
街角スナップ

昭和29年頃の  
航空写真



旧校舎写真



現在の校舎写真



現在の金沢文庫付近



昭和42年頃の金沢文庫付近

## 六葉会 1997 年度 決算報告書

### 収入の部

科 目	1997 年度予算	1997 年度決算	増 減	備 考
4 5 回 生 会 費	2,844,000	2,844,000	0	
4 6 回 生 入 会 金	410,000	408,000	2,000	204 名卒業
法人 預 け 金 繰 入	2,820,800	2,820,800	0	
維 持 会 費	1,000,000	1,264,000	264,000	¥4,000 * 316 名分
卒 業 生 の 集 い 会 費	300,000	81,000	219,000	
名 簿 販 売 代 金	50,000	342,500	292,500	¥2,500 * 137 冊
名 簿 広 告 代 金	60,000	30,000	30,000	
受 取 利 息	10,000	25,925	15,925	
繰 越 金	818,143	818,143	0	
雑 収 入	0	41,889	41,889	
合 計	6,676,657	7,039,971	363,314	

### 支出の部

科 目	1997 年度予算	1997 年度決算	増 減	備 考
運 営 費				
会 議 費	350,000	221,282	128,718	
事 務 費				
印 刷 費	150,000	133,500	16,500	
通 信 費	150,000	75,200	74,800	
消 耗 品 費	30,000	3,202	26,798	
交 際 費				
慶 弔 費	100,000	74,025	25,975	
援 助 費	100,000	154,310	54,310	
合同同窓会分担金	66,600	66,600	0	
雑 費	10,000	1,575	8,425	
事 業 費				
会 報 印 刷 費	1,000,000	1,613,288	613,288	
会 報 発 送 費	810,000	784,050	25,950	
名 簿 発 送 費	6,800	43,670	36,870	
行 事 費	100,000	188,213	88,213	
生 徒 会 援 助 金	100,000	100,000	0	
積 立 金 繰 入				
一 般 積 立 金	100,000	50,000	50,000	
行 事 積 立 金	100,000	50,000	50,000	
名 簿 積 立 金	600,000	600,000	0	
在 校 生 会 費 預 り 金	2,820,800	2,820,800	0	
予 備	82,457	0	82,457	
小 計	6,676,657	6,979,715	303,058	
次 期 繰 越 金	0	60,256	60,256	
合 計	6,676,657	7,039,971	363,314	

## 六葉会 1998 年度 予算書

### 収入の部

科 目	1997 年度予算	1998 年度決算	増 減	備 考
4 6 回 生 会 費	2,844,000	2,584,800	259,200	
4 7 回 生 入 会 金	410,000	396,000	14,000	
法 人 預 け 金 繰 入	2,820,800	2,881,600	60,800	
維 持 会 費	1,000,000	1,000,000	0	
卒 業 生 の 集 い 会 費	300,000	100,000	200,000	
名 簿 販 売 代 金	50,000	100,000	50,000	
名 簿 広 告 代 金	60,000	30,000	30,000	
受 取 利 息	10,000	25,000	15,000	
繰 越 金	818,143	60,256	878,399	
合 計	6,676,657	7,177,656	500,999	

### 支出の部

科 目	1997 年度予算	1998 年度決算	増 減	備 考
運 営 費				
会 議 費	350,000	300,000	50,000	
事 務 費				
印 刷 費	150,000	150,000	0	
通 信 費	150,000	100,000	50,000	
消 耗 品 費	30,000	20,000	10,000	
交 際 費				
慶 弔 費	100,000	100,000	0	
援 助 費	100,000	150,000	50,000	
合 同 同 窓 会 分 担 金	66,600	61,200	5,400	
雑 費	10,000	10,000	0	
事 業 費				
会 報 印 刷 費	1,000,000	1,300,000	300,000	
会 報 発 送 費	810,000	810,000	0	
名 簿 発 送 費	6,800	13,600	6,800	
行 事 費	100,000	200,000	100,000	
生 徒 会 援 助 金	100,000	100,000	0	
積 立 金 繰 入				
一 般 積 立 金	100,000	150,000	50,000	
行 事 積 立 金	100,000	150,000	50,000	
名 簿 積 立 金	600,000	600,000	0	
在 校 生 会 費 預 り 金	2,820,800	2,820,800	0	
予 備 費	82,457	142,056	59,599	
合 計	6,676,657	7,177,656	500,999	

クラス会に

# 助成金

六葉会から、同期会やクラス会に助成金が出ることを存じでしょうか。幹事になられた方は、是非一報ください。学校または学年幹事に連絡いたがくと学年会には10,000円、クラス会には5,000円の通信補助がつけられます。どうぞご利用ください。

連絡先 関東学院六浦中学・高等学校  
0457812525 中田まで

## 訃報

お悔やみ申し上げます

(会報委員会調査分)

齋藤	井田	森田	堀江	井川	高津	渡邊	川島	同窓
真	み	忠	太	佐	武	敏	功	敬
紀	ゆ	一	郎	知	士	雄	男	一
43	30	18	8	8	8	7	4	1
回	回	回	回	回	回	回	回	回
生	生	生	生	生	生	生	生	生
2	3	2	4	2	1	1	3	2
組	組	組	組	組	組	組	組	組
"	"	"	"	"	"	"	"	"
10	9	10	10	10	10	10	10	平成
年	年	年	年	年	年	年	年	9
1	8	5	4	4	4	5	11	月
月	月	月	月	月	月	月	月	

## 募 集 コ ー ナ ー

来年度の六葉会会報の記事、投稿、想いのスナップを募集しています。クラス会の報告や現役当時のお話などお待ちしております。

連絡先  
0468227772  
住まいるショップ 長浜まで

## 編 集 後 記

今年もなんとかできありがとうございました。原稿等ご協力いただきありがとうございます。(長浜)

この会報の作成に携わっていただいた方々に感謝しております。会報の読者が増えることを願っています。(高石)

楽しみながらやらせてもらいました。来年も是非会報委員をやりたいと思います。(井汲)



# 名

# 簿

(1996年度版)の販売について

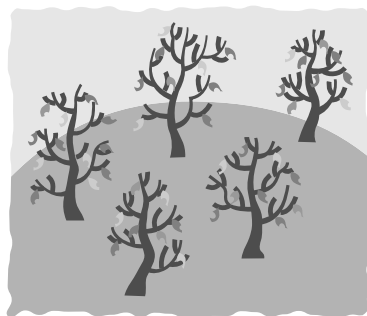
1996年度版の卒業生名簿ご希望の方は関東学院六浦中高までご連絡ください。卒業生名簿を郵送いたします。名簿到着後、同封の振替用紙にて¥2,500(手数料別)をお振込みください。

最近名簿広告業者が六葉会の名称を使って、広告を強要したり、名簿を販売する事件が発生しております。当会とは無関係ですのでご注意ください。

お問い合わせ先 045 781 2525 中田まで

## 維持会費のご協力をお願い

1998年度の維持会費の納入をお願いしております。六葉会の運営に是非ともご協力下さい。納入は同封の郵便振込用紙をご利用の上4,000円(手数料別)お振込下さい。よろしく願い申し上げます。



1999年度(平成11年度)  
**中学校生徒募集要項**

	〔1次〕	〔2次〕
募集人員	100名(男・女) いずれも本学院六浦小学校からの進学者の数は含みません。	30名(男・女)
出願資格	1999年3月 小学校卒業見込みの者	
出願期間	1月11日(月)~1月13日(水) 受付時間 9:00 ~ 15:00	1月11日(月)~1月13日(水) 2月2日(火)~2月4日(木) 受付時間 9:00 ~ 15:00 2月4日(木)は9:00 ~ 11:00
出願書類	A入学志願票・受験票(本校指定) B志願者カード(本校指定) C在学小学校6年生の成績通知表のコピー(B4サイズ)	
入学検定料	20,000円 ただし、1次2次同時出願者は、2次の検定料を半額とします。	20,000円
入学試験日	2月1日(月)	2月5日(金)
試験科目	国語・社会・理科・算数	国語・算数
合格発表	2月2日(火)9:00	2月5日(金)16:30



道 順

- 1b京浜急行「金沢八景駅」下車(特急・急行停車駅)
- 1b金沢八景駅から  
(徒歩の場合)  
地図の矢印の道順で歩いて約15分。  
(バス利用の場合)  
国道16号に出て、バス停「金沢八景」より乗車
- 1b京浜急行バス「追浜日産自動車行」  
市営バス「追浜行」のときは、「内川橋」下車、徒歩5分。
- 1b京浜急行バス「関東学院循環」のときは「関東学院大学」下車。



# Le concert d'hiver

オルガンとトロンボーンによるクリスマス・コンサート

12月5日(土)PM3:00 ~  
礼拝堂にて

 **若狭 和良** (ワカサ・カズヨシ)

広島県出身。1990年エリザベト音楽大学卒業。91年フランス・パリヨーロッパ音楽院、93年パリ音楽院(CNR)、95年パリ15区音楽院をそれぞれ一等賞で卒業。97年日本管打楽器コンクール第2位受賞。トロンボーンを沖野信雄、伊藤清、岡本繁邦、J・トゥーロン、J・モージェ、D・ブレザンスキー、G・シリエールの各氏に師事。現在、ソロ、アンサンブル、オーケストラで演奏活動を行う一方、名古屋、千葉、広島などで後進の指導にも当たっている。

 **大室 直樹** (オオムロ・ナオキ)

広島県出身。1992年武蔵野音楽大学卒業。在学中、元ベルリンフィルハーモニー管弦楽団首席奏者。ヨハン・ドムス氏のすすめにより、旧西ドイツ国立ベルリン芸術大学に1年間留学。94年トロンボーン四重奏団「東京トロンボーンスクエア」として第4回全日本ソリストコンテスト、アンサンブル部門入選。トロンボーンを岡本繁邦、木下利男、ヨハン・ドムス、ヨアヒム・ミツテラッヒャーの各氏に師事。現在、フリーのトロンボーン奏者として活躍中。

 **建石 直子** (タテishi・ナオコ)

関東学院女子短期大学幼児教育科、洗足学園大学オルガン科卒業。エリザベト音楽大学大学院修士課程修了。オルガンを村上顕、佐藤ミサ子、山崎陽子の各氏に師事。1998年1月より関東学院六浦中等高等学校でオルガニストを務めている。現在、ソロ活動の他、合唱団・オーケストラ等との共演も行っている。又、カトリック山手教会および田園調布教会においてもオルガニストを務めている。

コンサート終了後4:30PM ~  
中高学生食堂にて“卒業生の集い”会費：1,000円

1998.11.1発行

関東学院六葉会 〒236 0032 横浜市金沢区六浦町4834 ☎045(781)2525

印刷・(株)エイコープリント